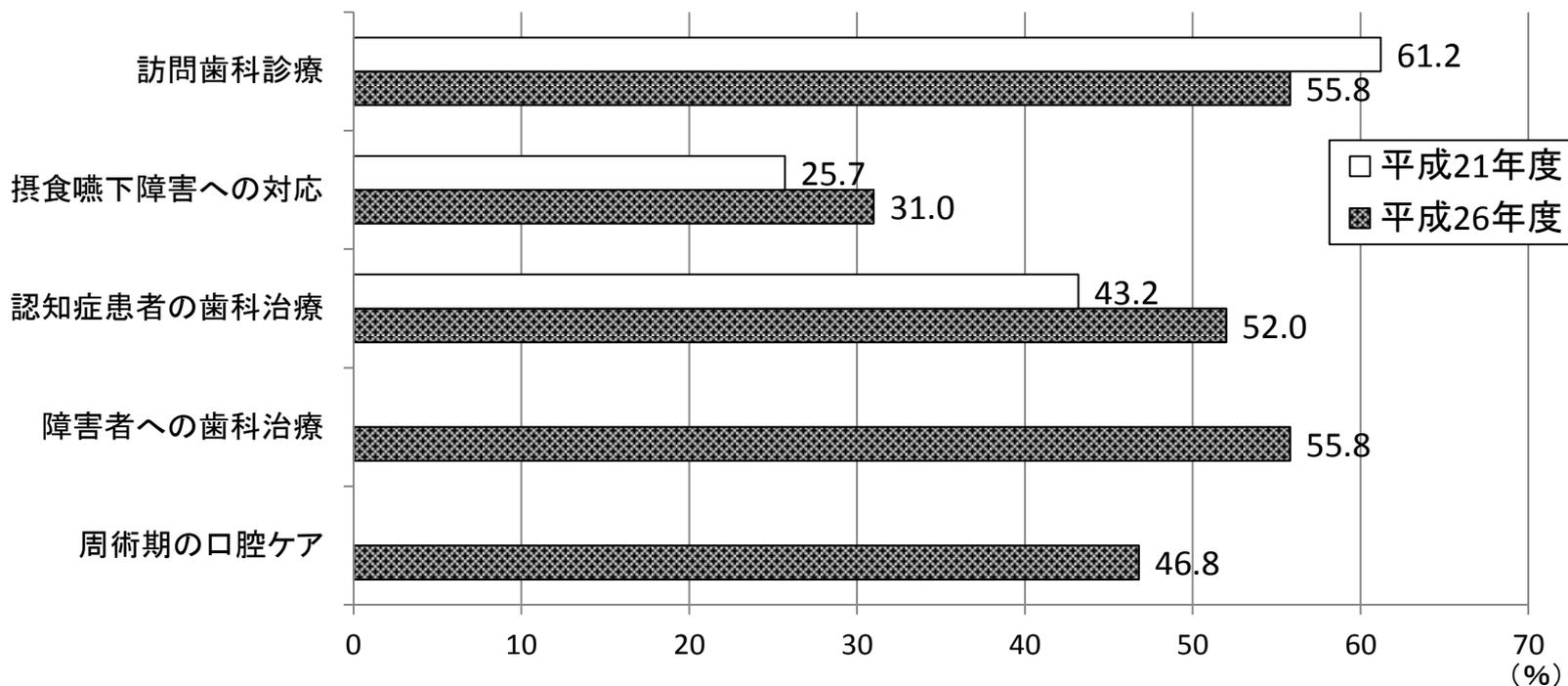


## 在宅歯科医療の現状

## 在宅歯科医療の取組状況(歯科診療所)

要介護高齢者等への対応として、「訪問歯科診療の対応可能」と回答した歯科診療所の割合は、平成21年度に比べ、5.4ポイント減少した。一方、「摂食・嚥下障害への対応」、「認知症患者の歯科治療」が可能と回答した者の割合は5ポイント以上増加した。

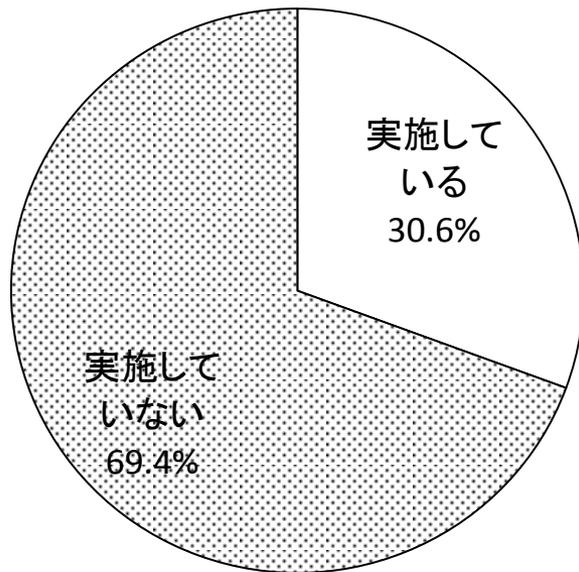


## 在宅歯科医療の取組状況(歯科診療所)

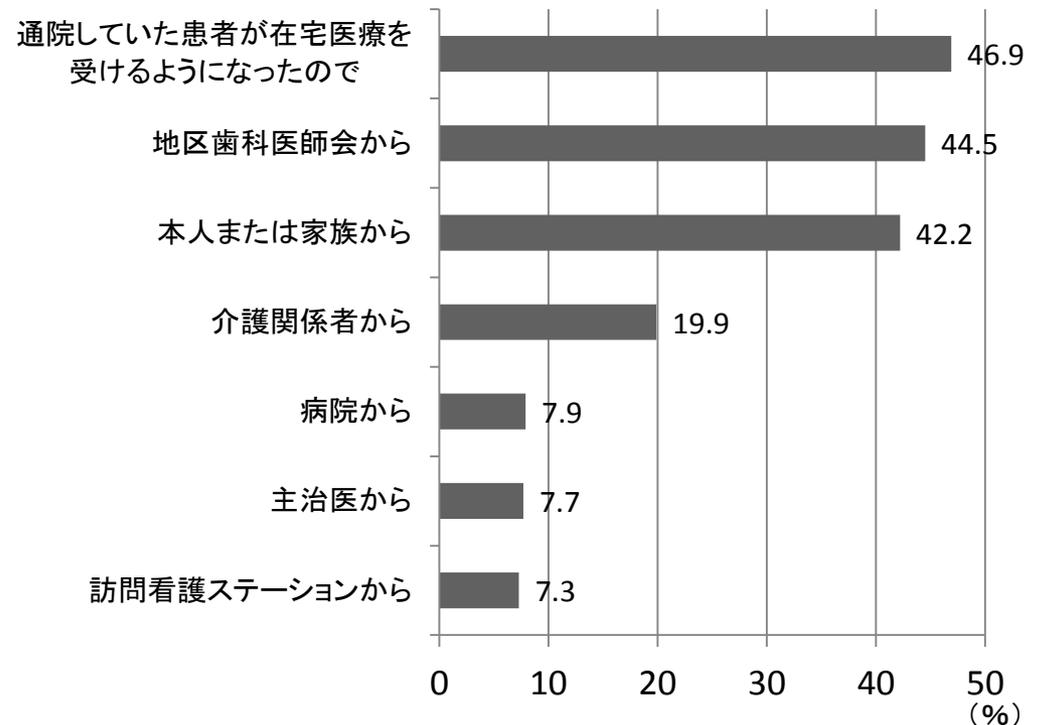
平成23年度に実施した調査によると、在宅歯科医療を実施する際の依頼元は「通院していた患者が在宅歯科医療を受けるようになったので」が最も多く、「地区歯科医師会から」、「本人または家族から」のいずれも40%以上となっている。

一方、「介護関係者から」や「主治医から」、「訪問看護ステーションから」の依頼と回答した割合は少なかった。

### 訪問歯科診療の実施の有無



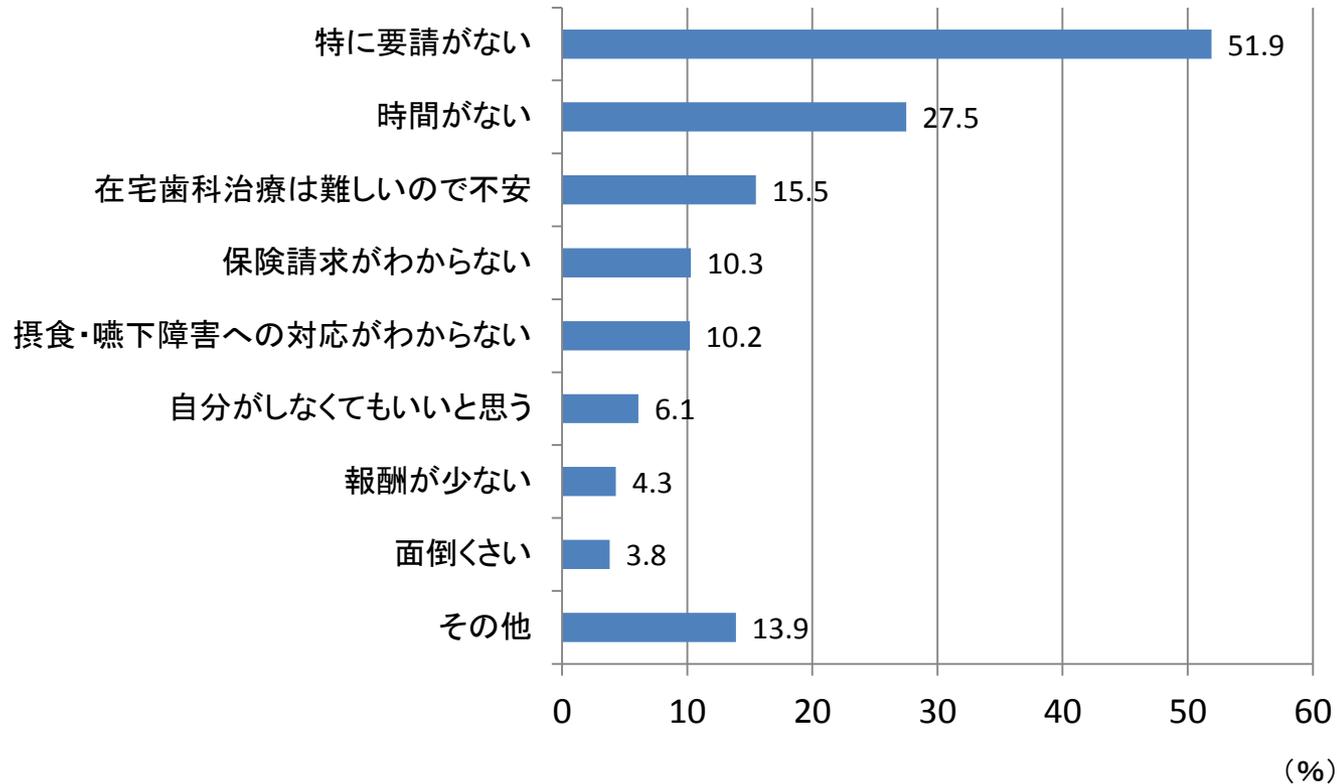
### 訪問歯科診療の依頼元



## 在宅歯科医療の取組状況(歯科診療所)

平成23年度に実施した調査によると、在宅歯科診療を実施しない理由は、「特に要請がない」と回答した割合が半数を超えている。次いで、「時間がない」と回答した割合が3割弱となっている。

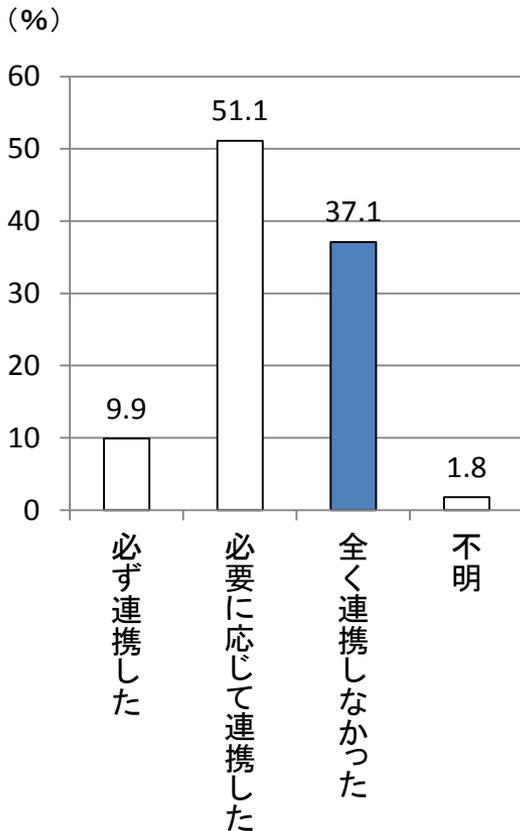
### 訪問歯科診療を行わない理由



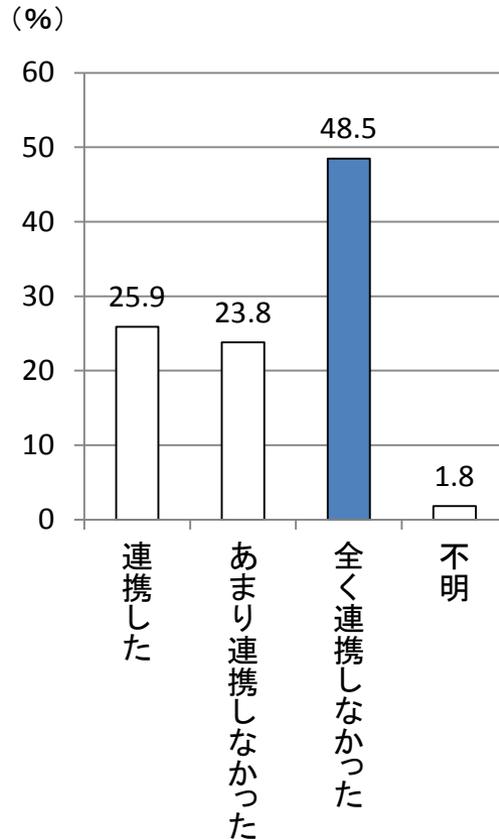
## 在宅歯科医療の取組状況(歯科診療所)

在宅歯科診療を実施する際、主治医やケアマネージャー、訪問看護ステーションとの連携の有無については、「全く連携をしなかった」と回答した割合は、主治医で37.1%、ケアマネージャーで48.5%、訪問看護ステーションで58.9%と高くなっている。

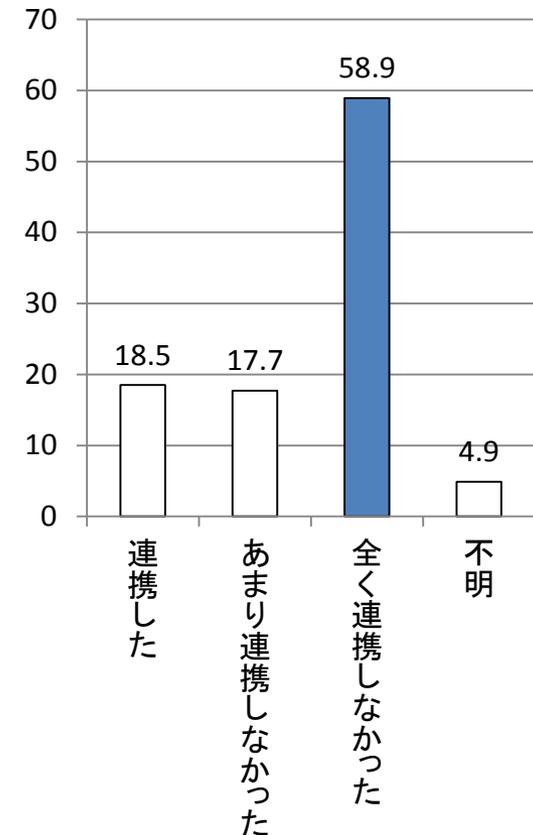
### 主治医との連携



### ケアマネとの連携



### (%) 訪問看護ステーションとの連携

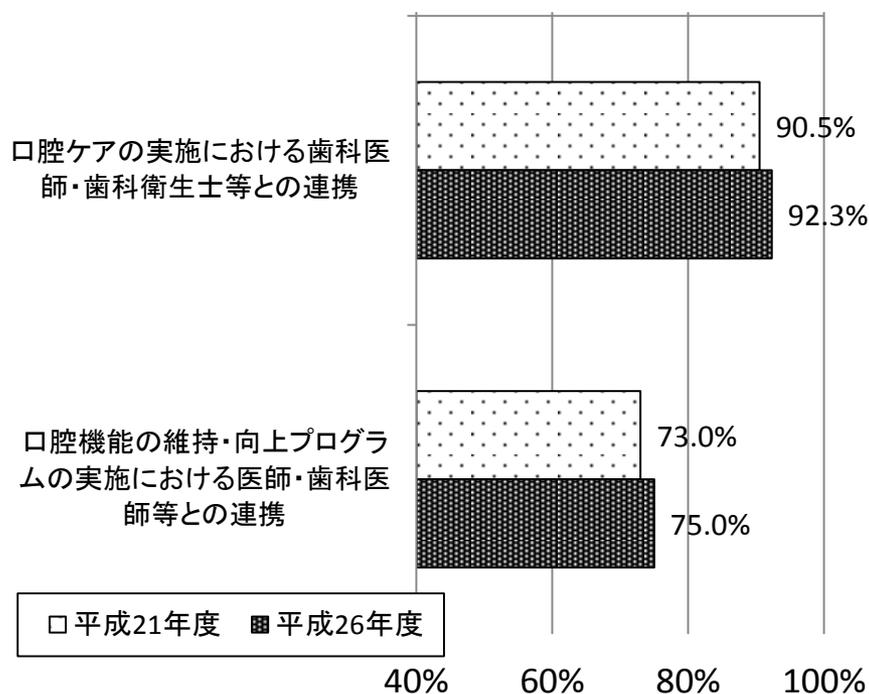


# 介護保険施設等における口腔ケアの取組状況(専門職との連携)

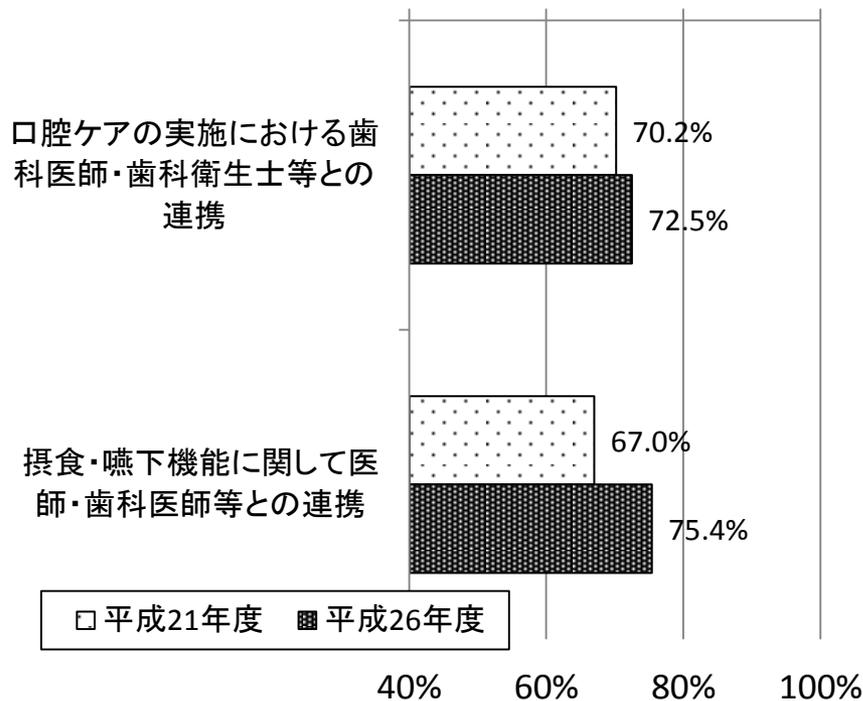
介護保険施設において、口腔ケアに関する歯科医師等と連携を取っている割合は9割以上となっている。一方、訪問看護ステーションにおいては、7割程度となっている。

摂食・嚥下機能に関して医師・歯科医師等との連携を取っている訪問看護ステーションの割合は、平成21年度に比べ8.4ポイント増加したが、7割強となっている。

## 介護保険施設における連携



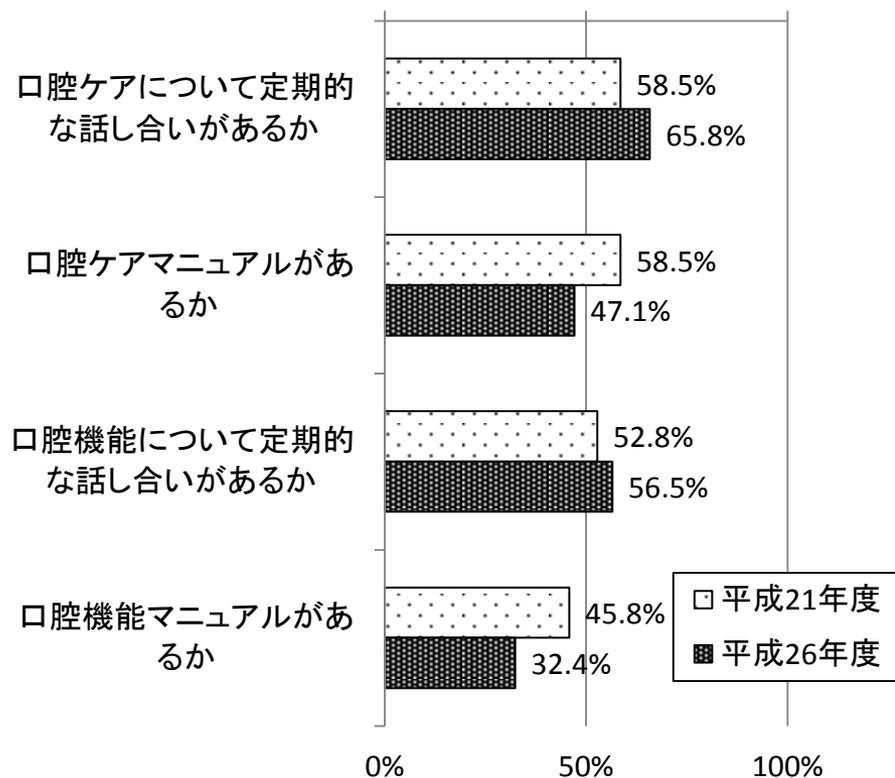
## 訪問看護ステーションにおける連携



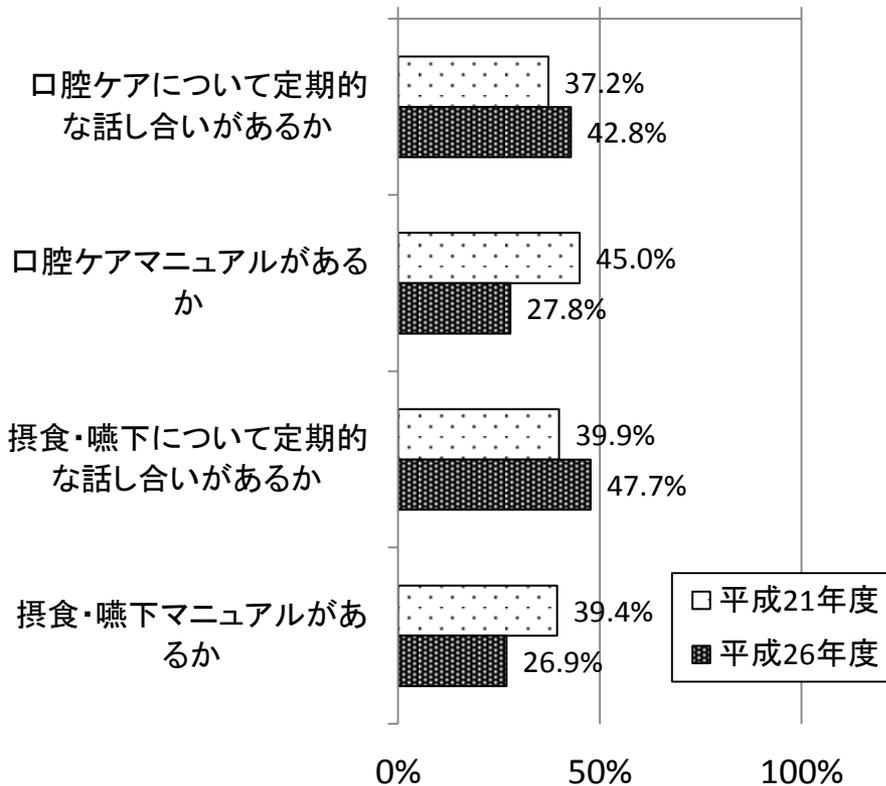
# 介護保険施設等における口腔ケアの取組状況(話し合いやマニュアル整備)

介護保険施設及び訪問看護ステーションにおける口腔ケアの取組について、平成21年度と平成26年度を比べると、「定期的な話し合い」は増加が見られたが、「マニュアルの整備」については、21年度より割合が下がった。

## 介護保険施設における取組



## 訪問看護ステーションにおける取組



## 在宅歯科医療における東京都の取組(平成23年度～27年度)

### ○ 在宅歯科医療研修会の実施

在宅歯科医療に関する知識の習得や在宅医療への関わり方等に関する研修を行い、地域で核となる人材の養成(平成19年度～)

### ○ 在宅歯科医療設備整備事業

在宅歯科医療を実施するために必要となる医療機器等の整備を行う診療所に対し、整備にかかる経費の一部を補助し、在宅歯科医療の普及向上を推進(平成21年度～)

### ○ 在宅介護者への歯科口腔保健推進設備整備事業

在宅歯科医療を実施する診療所に対し、口腔ケア等に必要な機器等の整備にかかる経費の一部を補助し、在宅療養者を介護する家族等への知識や技術の指導・普及を推進(平成25年度、26年度)

### ○ 摂食・嚥下機能支援推進事業

高齢者等の摂食・嚥下障害に適切に対応することができるよう、評価やリハビリテーションを行う医療従事者の育成や、地域での多職種連携を進める取組を支援(平成20年度～)

### ○ 在宅療養者に対する口腔ケアの推進

在宅療養者に対する口腔ケアの普及のため、日常的な口腔ケアの方法などを紹介する家族向けリーフレットを作成し、歯科医療機関等へ配布(平成24年度)

### ○ 「はじめての在宅歯科医療」の作成

初めて在宅歯科医療に取り組む歯科医師向けの入門書を作成(平成24年度)

## 在宅歯科医療の現状と課題

- 訪問歯科医療を実施している歯科診療所の割合は、平成21年度に比べ5.4ポイント減少し、5割程度となっている。
- 平成23年度の調査によると、在宅歯科医療の依頼は、「通院していた患者が在宅医療を受けようになったから」が最も多く、「介護関係者や訪問看護ステーションからの依頼」はわずかであった。
- 介護保険施設や訪問看護ステーションでの口腔ケア等の取組状況について、口腔ケアや摂食嚥下、口腔機能に関するマニュアルを有している割合がいずれも減少した。



- ◆ 在宅歯科診療を進めるために、歯科医師と介護関係者や訪問看護ステーションとの連携の推進
- ◆ 施設や訪問看護ステーションで実施する口腔ケアの取組について、マニュアル等の整備（新規施設、小規模施設等に対し）の促進・支援

# 高齢者・在宅療養者に対する支援 (区市町村の取組)

東京都歯科保健目標『いい歯東京』達成度調査報告書、東京の歯科保健(平成26年版)及び各区市町村ホームページを参考に作成

区市町村名	啓発			歯科健診				在宅歯科医療等の実施状況				区市町村名	
	誤嚥・窒息の予防	誤嚥性肺炎の予防	口腔機能向上	成人歯科健康診査		対象年齢 5歳毎の節目年齢	その他の歯科健康診査	実施	事業名	対象者	事業の概要		
				65歳以上	うち75歳以上								
( の数合計 )	36	41	43	42	26								
( 区部計 ) ( 23区 )	18	22	19	19	7								
( 多摩計 ) ( 30市町村 )	17	16	19	19	15								
( 歯し計 ) ( 6町村 )	1	3	5	4	4								
1 千代田区	x		x			19歳以上							千代田区
2 中央区						30歳～70歳の偶数歳	医療機関/高齢者歯科健康診査/72歳以上の偶数歳 寝たきり高齢者等の訪問健診あり						中央区
3 港区						20歳以上		障害者等かかりつけ歯科医機能推進事業	在宅要介護者	かかりつけ歯科医の紹介、歯科診療		港区	
4 新宿区						20歳以上		かかりつけ歯科医機能の推進	要介護高齢者	かかりつけ歯科医の紹介		新宿区	
5 文京区			x	x	x	30歳(歯周疾患検診)		在宅寝たきり高齢者等 歯科訪問健診・予防相談指導事業	満40歳以上	訪問歯科健診、訪問指導		文京区	
6 台東区					x	30歳～40歳、55歳～70歳 41歳～54歳		口腔ケア連携推進事業	要介護高齢者	口腔ケア、歯科に関する相談 指導 検査		台東区	
7 墨田区			x		x	20歳～70歳		在宅高齢者訪問歯科診療事業	原則として満65歳以上	訪問歯科診療、訪問指導		墨田区	
8 江東区					x	20歳～70歳		歯科保健推進事業	要介護高齢者	訪問歯科診療 高次医療機関の紹介、相談 指導		江東区	
9 品川区					x	40歳～70歳						品川区	
10 目黒区	x				x	40 42 45 47 50 55 60 65 70歳						目黒区	
11 大田区						30歳～60歳 66 68 70 72 74 76歳		ねたきり高齢者訪問歯科支援事業	概ね満65歳以上	訪問診査、摂食 嚥下機能健診、訪問指導		大田区	
12 世田谷区	x	○			x	40歳～70歳						世田谷区	
13 渋谷区					x	20歳～70歳		障害者等口腔保健医療事業	要介護高齢者	歯科診療、相談、指導		渋谷区	
14 中野区			x		x	35歳～70歳		障害者等歯科医療事業	在宅要介護者	歯科診療、相談、指導		中野区	
15 杉並区				x	x	20～50歳、60～70歳		歯科保健医療センター運営	要介護高齢者	歯科診療、相談 指導、訪問歯科診療		杉並区	
16 豊島区				x	x			心身障害者(児)歯科診療事業	要介護高齢者	歯科診療、相談、指導		豊島区	
17 北区						40～80歳						北区	
18 荒川区					x	40歳～70歳						荒川区	
19 板橋区					x	40歳～70歳		訪問歯科診療事業	満65歳以上	訪問診査、訪問指導		板橋区	
20 練馬区	x			x	x	30 40 45 50 60 70歳		心身障害者(児)および在宅要介護高齢者歯科診療事業 摂食・えん下リハビリテーション外来および訪問診療事業	要介護高齢者 要介護高齢者	歯科診療、相談 指導 摂食・えん下リハビリテーション診療		練馬区	
21 足立区						集団 35歳健診(保健総合センター) 個別 40歳～80歳(医療機関)						足立区	
22 葛飾区					x	40歳～70歳	長寿歯科健康診査 75歳	葛飾区ねたきり高齢者歯科診療	原則として区内在住で65歳以上	歯科診療、訪問診療、訪問指導		葛飾区	
23 江戸川区	x				x	20歳～70歳		口腔保健センター運営 在宅訪問歯科診療事業	要介護高齢者 満40歳以上の在宅療養者	歯科診療、相談 指導 訪問診療		江戸川区	

区市町村名	啓発			歯科健診				在宅歯科医療等の実施状況				区市町村名
	誤嚥・窒息の予防	誤嚥性肺炎の予防	口腔機能向上	成人歯科健康診査			その他の歯科健康診査	実施	事業名	対象者	事業の概要	
				65歳以上	うち75歳以上	対象年齢 5歳毎の節目年齢						
24 八王子市						40～70歳 71歳以上の未受診者		八王子市在宅介護者等かかりつけ歯科医紹介事業	在宅介護者等	対応可能な歯科医療機関(通院 訪問)の紹介	八王子市	
25 立川市	x	x	x			40歳～ 希望者		在宅歯科診療事業	満65歳以上	訪問診療、訪問指導	立川市	
26 武蔵野市						40歳～ 希望者		武蔵野市在宅高齢者訪問歯科健診事業	満65歳以上	歯科健診、訪問指導	武蔵野市	
27 三鷹市			x			41歳～ 希望者		三鷹市在住者等訪問歯科健康診査事業	40歳以上	歯科健診、訪問指導	三鷹市	
28 青梅市					x	20～70歳					青梅市	
29 府中市						18歳以上の希望者(61歳～70歳には勸奨通知発送)		府中市歯科医療連携推進事業 かかりつけ紹介事業 摂食 嚥下機能支援相談窓口事業	障害等がありかかりつけ歯科医を持たない市民 食べる機能の低下が気になる市民		府中市	
30 昭島市			x	x				障害者等歯科医療支援事業	障害者等	訪問診療、歯科医紹介	昭島市	
31 調布市				x	x	35 40 45 50 60 70歳(個別通知)、20歳～59歳(個別通知者を除く)					調布市	
32 町田市			x		x	18～70歳					町田市	
33 小金井市	x	x				35～80歳		歯科医療連携推進事業	かかりつけ歯科医の紹介が必要な要介護者等	障害者等の歯科医療を行う歯科医の定着促進	小金井市	
34 小平市		x	x			40歳～		歯科医療連携推進事業	訪問が必要な市民	在宅介護者等に対応できる歯科医療機関の紹介	小平市	
35 日野市			x	x				歯科医療連携推進事業	訪問が必要な市民	在宅介護者に対応できる歯科医療機関の紹介	日野市	
36 東村山市						20歳～		歯科医療連携推進事業	要介護者	在宅介護者等に対応できる歯科医療機関の紹介	東村山市	
37 国分寺市						20歳以上	口腔機能向上歯科健診 保健センター40歳以上、口腔がん検診	在宅訪問歯科健診事業 歯科医療連携推進事業	満20歳以上 要介護者	歯科健診 歯科診療、相談 指導	国分寺市	
38 国立市	x	x	x			40歳～	地域型訪問歯科健診				国立市	
39 福生市		x	x	x	x	40～70歳(10歳ごとの節目)	65歳以上(70歳除く)高齢者歯科健康診査				福生市	
40 狛江市	x	x	x			40歳～		狛江市在宅寝たきり高齢者訪問歯科診療事業	満65歳以上	訪問診療	狛江市	
41 東大和市	x	x		x	x			歯科医療連携推進事業	訪問の必要な高齢者	訪問診療、訪問指導	東大和市	
42 清瀬市						18歳～		歯科医療連携推進事業	要介護者	訪問診療、訪問指導	清瀬市	
43 東久留米市	x	x			x	40～70歳					東久留米市	
44 武蔵村山市						20歳～		歯科医療連携推進事業	要介護者等	訪問歯科診療	武蔵村山市	
45 多摩市				x	x	30歳		障害児(者)等歯科診療事業	一般歯科診療所において診療を受けることが困難な者	歯科診療 摂食嚥下機能診療	多摩市	
46 稲城市	x	x	x	x	x			かかりつけ歯科医紹介事業	在宅で寝たきりの者		稲城市	
47 羽村市	x	x	x			40歳～					羽村市	
48 あきる野市	x	x		x	x	40～70歳(10歳ごとの節目)					あきる野市	
49 西東京市	x					18歳～(歯周疾患検診対象者を除く)		歯科医療連携推進事業	在宅介護者等	コーディネート相談 訪問指導	西東京市	
50 瑞穂町	x	x	x	x	x	40～70歳(10歳ごとの節目)					瑞穂町	
51 日の出町				x	x	40～70歳(10歳ごとの節目)					日の出町	
52 檜原村	x	x			x	30～70歳(歯周疾患検診対象者を除く)					檜原村	
53 奥多摩町	x	x	x	x	x						奥多摩町	
54 大島町	x			x	x						大島町	
55 利島村	x					18歳以上希望者					利島村	
56 新島村	x	x				18歳以上					新島村	
57 神津島村	x	x		x	x						神津島村	
58 三宅村	x	x	x			40歳以上					三宅村	
59 御蔵島村	x	x	x			18歳以上					御蔵島村	
60 八丈町				x	x						八丈町	
61 青ヶ島村	x	x	x	x	x						青ヶ島村	
62 小笠原村	x	x	x	x	x						小笠原村	

# 在宅療養を支える歯科医療資源

平成27年11月16日修正

資料 8 - 3

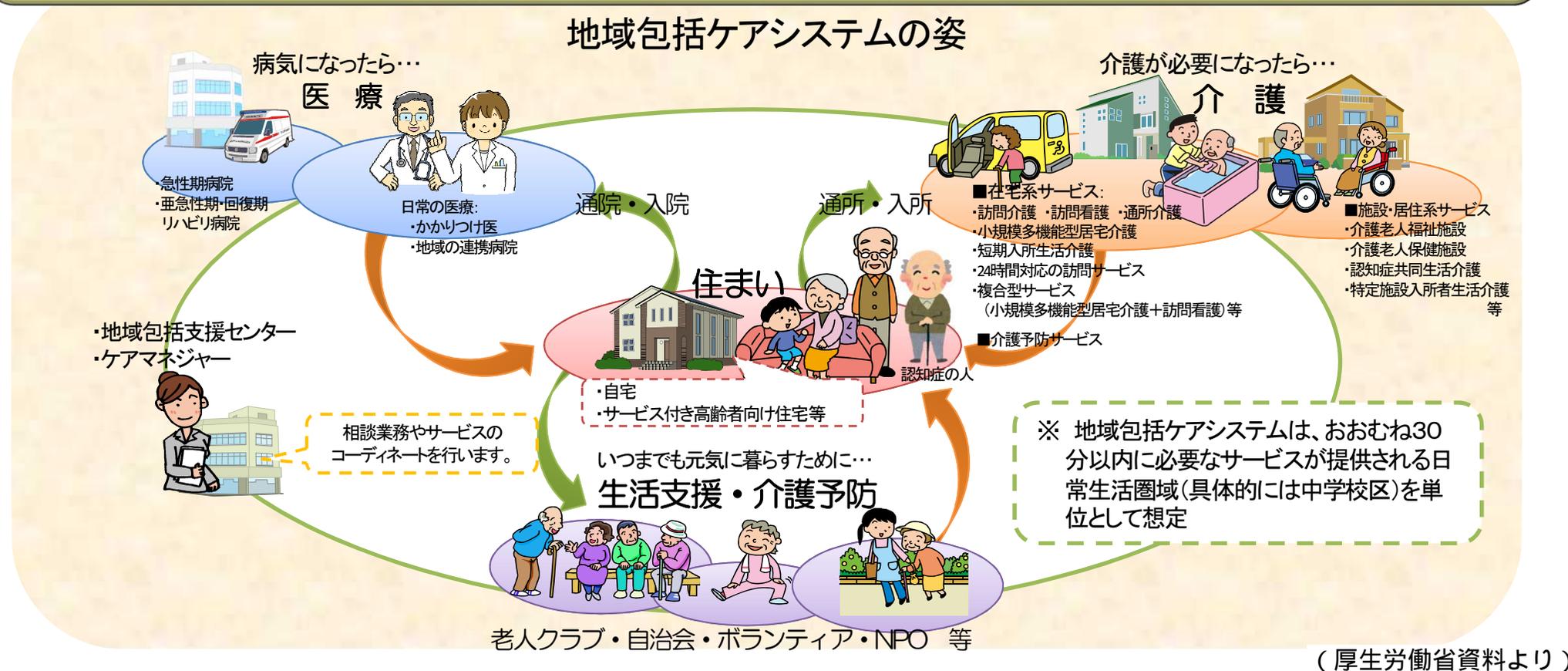
		歯科診療所数 (医療施設 (動態) 調査より) (25.10.1現在)	在宅療養支援歯科診療所 (関東信越厚生局データより) (27.11.1現在)	訪問歯科診療に対応可能歯科診療所 (東京都医療機関情報システムより) A	2025年医療需要(人) (訪問診療を必要とする在宅療養患者数の推計) B	B/A (人)
区中央部	千代田区	351	5	80	9,055	17.0
	中央区	436	17	106		
	港区	592	8	156		
	文京区	236	11	94		
	台東区	237	11	97		
区南部	品川区	345	15	146	13,728	37.9
	大田区	555	23	216		
区西南部	目黒区	281	15	97	19,273	40.4
	世田谷区	755	59	298		
	渋谷区	423	7	82		
区西部	新宿区	431	18	150	16,490	41.4
	中野区	257	14	88		
	杉並区	428	17	160		
区西北部	豊島区	314	9	73	20,956	51.6
	北区	252	10	90		
	板橋区	349	14	92		
	練馬区	460	26	151		
区東北部	荒川区	144	5	36	14,266	52.6
	足立区	384	19	139		
	葛飾区	268	17	96		
区東部	墨田区	186	5	93	11,522	32.4
	江東区	295	17	122		
	江戸川区	359	12	141		
西多摩	青梅市	63	5	19	1,787	31.4
	福生市	32	1	6		
	羽村市	32	5	10		
	あきる野市	42	1	14		
	瑞穂町	11	0	5		
	日の出町	7	1	2		
	檜原村	0	0	1		
	奥多摩町	2	0	0		
南多摩	八王子市	286	15	93	13,661	57.6
	町田市	219	22	76		
	日野市	85	7	34		
	多摩市	63	1	19		
	稲城市	38	2	15		
北多摩西部	立川市	117	16	37	5,226	35.8
	昭島市	62	1	20		
	国分寺市	75	6	33		
	国立市	73	3	27		
	東大和市	41	0	15		
	武蔵村山市	26	0	14		
北多摩南部	武蔵野市	150	8	56	10,695	40.2
	三鷹市	96	3	43		
	府中市	141	5	63		
	調布市	152	11	59		
	小金井市	64	2	28		
	狛江市	39	2	17		
北多摩北部	小平市	100	5	38	6,584	46.4
	東村山市	66	3	29		
	清瀬市	36	7	15		
	東久留米市	57	2	10		
	西東京市	120	6	50		
島しょ	大島町	5	0	2	186	18.6
	利島村	0	-	-		
	新島村	0	-	-		
	神津島村	1	0	1		
	三宅村	1	0	1		
	御蔵島村	0	-	-		
	八丈町	6	2	4		
	青ヶ島村	0	-	-		
	小笠原村	1	0	2		
合計		10,647	496	3,661	143,429	39.2

一般診療所 12か所を含む

# 地域包括ケアシステム

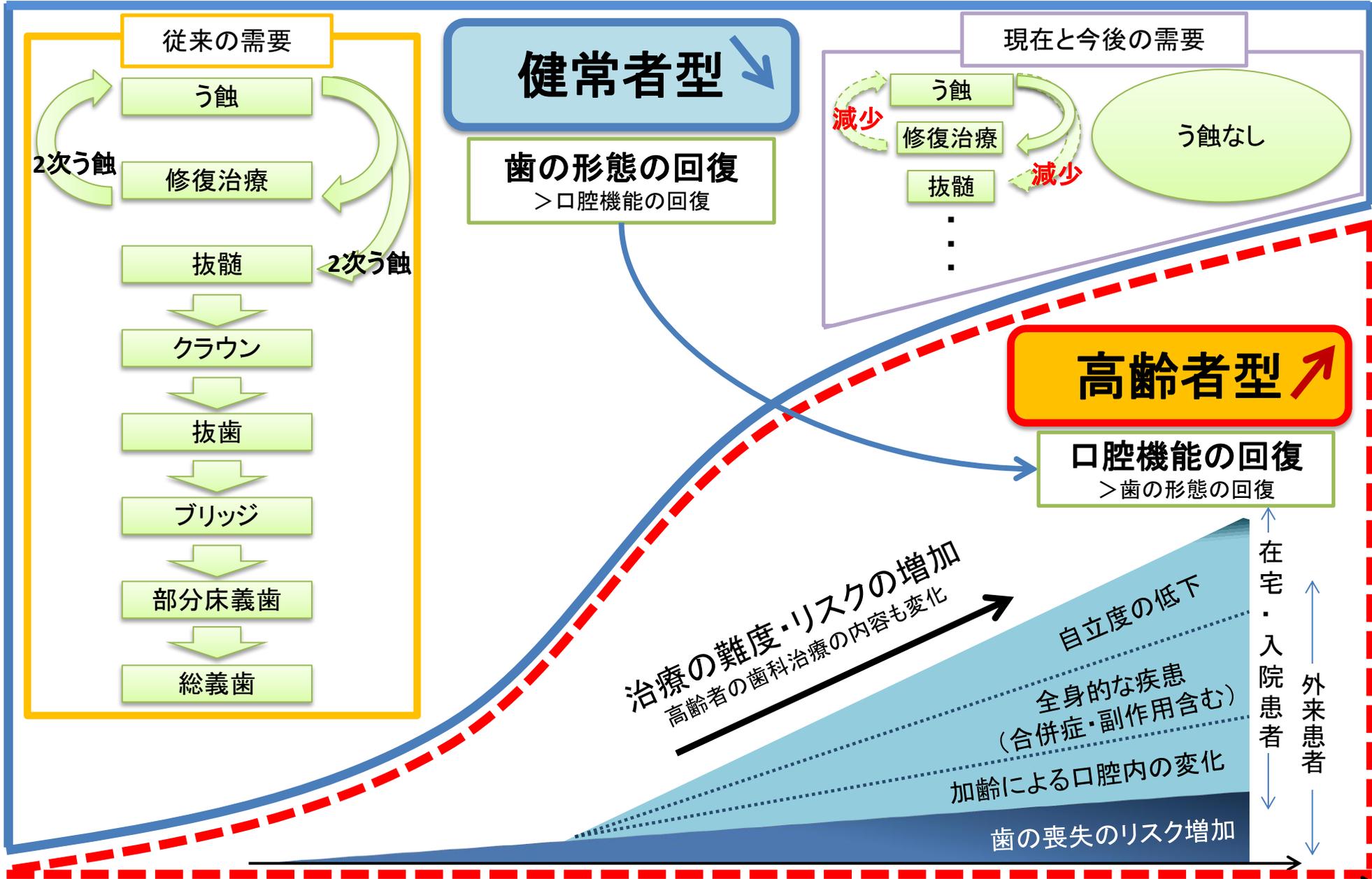
- 団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、**住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を実現**していきます。
- 今後、認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症高齢者の地域での生活を支えるためにも、地域包括ケアシステムの構築が重要です。
- 人口が横ばいで75歳以上人口が急増する大都市部、75歳以上人口の増加は緩やかだが人口は減少する町村部等、**高齢化の進展状況には大きな地域差**が生じています。

地域包括ケアシステムは、**保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていく**ことが必要です。



# 歯科治療の需要の将来予想(イメージ)

歯科治療の需要

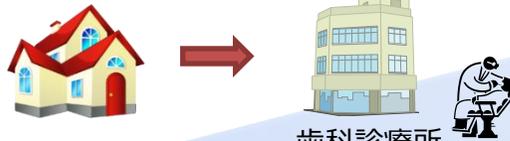


# 歯科医療サービスの提供体制の変化と今後の展望

## ● 近年の歯科保健医療を取り巻く状況の変化

- ・高齢化の進展等の人口構造の変化
- ・う蝕の減少等の疾病構造の変化
- ・ITの普及等による患者意識の変化
- ・歯科治療技術の向上

1980年



口腔内症状の発現に伴い歯科診療所を受診  
 歯科診療所  
 (歯学部附属病院等と適宜連携)

### 【患者の特性とその対応】

う蝕等の歯科疾患に対する、う蝕処置、拔牙、補綴治療などの歯の形態回復を目的としつつ、歯科医療機関完結型の歯科医療の提供が主体

2010年



### 【患者の特性とその対応】

う蝕が減少する一方で、高齢化の進展や疾病構造の変化等に伴い、患者の病態像に応じた歯科医療ニーズが高まってきた。

2025年 (イメージ)



### 【患者の特性とその対応】

今後、より一層の高齢化が進展する中で、住民のニーズに応えるために、医科医療機関や地域包括支援センター等との連携を含めた地域完結型医療の中の歯科医療の提供体制の構築が予想される。

歯の形態回復を主体とした医療機関完結型の歯科医療



歯の形態回復に加え、口腔機能の維持・回復の視点も含めた

地域包括ケア(地域完結型医療)における歯科医療提供体制の構築へ